



日本防災士会広島県支部会報



第23号 平成21年10月17日

日本防災士会広島県支部活動報告

【広島県南東部支部(広島県支部南東部地区活動組織)設立総会】

日時：9月26日(土)10~12時

場所：福山ロツツ地下2階 福山市男女共同参画センター
イコールふくやま 大会議室

出席者：防災士 桑木光信, 岩崎和紀, 本安俊三, 熊谷智代
岡田恭子, 鎌田美恵子

来賓 福山市危機管理防災課課長 佐藤哲郎氏
三原市市民生活課課長 杉谷辰次氏
福山大学工学部教授 鎌田輝男氏
福山市危機管理防災課主事 高田友幸氏

司会進行(岩崎)



1. 開会挨拶 日本防災士会広島県支部 副支部長 桑木光信
今後発生が予想される巨大地震や活断層地震, 度重なる集中豪雨による洪水, 土砂災害から, 人命, 財産を守る防災啓発や体制作りを進める必要があり, 防災士の養成や地域防災活動への期待が高まっている。本日, 広島県南東部地区在住の防災士が福山の地で立ち上がり, 地域を守る集団として一步を踏み出した意義は大きい。今日は, 有益な意見交換ができることを期待していると挨拶した。

2. 広島県の南東部地区(福山市, 三原市, 尾道市, 府中市, 世羅町, 神石高原町の4市2町, 広島県東部地区自治体防災・危機管理連絡会議の構成市町と一致)在住防災士の活動, 連絡組織としての南東部支部設立までの経緯および南東部地区防災士の人数などの現状を報告した。(熊谷)

3. 防災士自己紹介, 各々の活動状況と課題, 防災士会活動への期待など活発な意見交換が行われた。特に災害時要援護者の支援体制, 集中豪雨による洪水, 浸水への地域の課題, 町内の自主防災組織化と充実などの現実問題が早速提起された。地域の防災に係る課題に対して当支部として情報交換・調査検討・解決策への取り組みが必要であると認識した。

4. 来賓挨拶
佐藤哲郎氏(福山市) 各地で大きな災害が発生する中で, 防災士には, 地域に密着した立場できめ細かい防災活動をしていただきたい。福山市としても防災士と連携し, 住民の防災力を高めていきたい。防災士会としても県東部自治体防災・危機管理連絡会議との連携に協力いただきたい。

杉谷辰次氏(三原市) 三原市は自主防災組織の組織率がようやく36%になり, 防災団体の協力により市民の手で防災訓練マニュアルが完成した。住民自らの力で自らの命や暮らしを守ることが一番なので, 防災知識を防災士の資格の中で住民に普及させてほしい。今年度から広島県が開催する防災講座を各市町からも受講予定であり, 5年後にはこの地域でも約60名の防災士が新たに誕生する予定で活躍が期待される。

鎌田輝男氏(福山大学工学部耐震工学専門)
非常に有意義な会の立ち上げに出席できて光栄。地域社会の安全を目指して熱い気持ちで防災活動に立ち上がったことに敬意を表します。私は, 木造建築の耐震工学を専門としている。お役に立つことがあれば協力します。

佐藤氏, 杉谷氏, 鎌田氏から, 暖かい激励のお言葉をいただいた。

5. 閉会挨拶 今日(土)は50年前伊勢湾台風が上陸した日である。その後もさまざまな災害が発生している状況の中で, 人という資源を活用して防災力を高めることが必要になり防災士の活躍が望まれている。今日, ここに防災の種が蒔かれ, 芽を出したばかりだが, この芽をしっかりと育て花を咲かせ, 実を結ばせていきたいと決意を述べた。(本安)

12時15分 記念撮影後, 散会した。次回会合予定12月13日(日)三原市にて。

【今後の予定】

- 11月29日 【第14回広島県支部勉強会】救命救急の実習とロープワーク 場所：日本赤十字社広島県支部 研修室
- 12月13日 広島県南東部支部会合 三原市にて